

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 25 日現在

機関番号：34416

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20H04412

研究課題名（和文）大正期日本の中国研究と第一次世界大戦前後の世界 内藤文庫所蔵資料を中心に

研究課題名（英文）China Study in Taisho Japan and the Changing World after the WWI: A Research Project Based on the Naito Konan Collection

研究代表者

陶 徳民 (Tao, Demin)

関西大学・東西学術研究所・客員研究員

研究者番号：40288791

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,100,000円

研究成果の概要（和文）：近代東洋学の代表者の一人として、内藤湖南（1866-1934）は近世中国・日本の学問史と芸術史に関する膨大な研究業績を残しただけでなく、同時代の内外政治に対する鋭い観察者でもあった。本科研「大正期日本の中国研究と第一次世界大戦前後の世界 内藤文庫所蔵資料を中心に」は、内藤の生涯における知的生産の最盛期にあたる大正期を焦点化し、その東洋史論、清末民国初期政治社会論及び中国文明文化論の特質を検討したプロジェクトである。期間中、関西大学図書館内藤文庫所蔵の一次資料に対する度重なる調査の結果に基づき、国際セミナーと国際シンポジウムをそれぞれ2回開催し、会議論文集3冊と関連図書10数冊を刊行した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近代屈指の「支那通」と評される内藤湖南が一貫して西洋の学術と政治の動向を注視していたことを解明することで、戦前日本の東洋学の特質の一面を浮き彫りにすることができた。内藤の膨大な中国関係蔵書、著述、書簡、草稿等をもとに、対中政策への深い関与が、戦前の日本人による中国研究の一つの在り方と到達点を明らかにした。このことはある意味で、戦後アメリカで提唱されたエリア・スタディーズに先駆けたアジア「地域研究」の一形態を呈示したとも言える。百年前の「近隣地域研究」に対する省察は、今日存在感を増している「超大国」・中国に至る歴史的文脈と今後の行方を検討する上で寄与できると考えられる。

研究成果の概要（英文）：As one of the leading scholars of Oriental studies in modern Japan, Naito Honan (1866-1934) was not only a prolific researcher on the academic and artistic history of early modern China and Japan, but also a keen observer of the domestic and international politics of his time. This project, "China Study in Taisho Japan and the Changing World after the WWI: A Research Project Based on the Naito Konan Collection" focused on the Taisho period, the peak of Naito's intellectual production in his life, and examined the characteristics of his theories on Oriental history, political and social issues of late Qing and early republican China, and Chinese civilization and culture. Based on the results gained through repeated investigations of primary documents preserved at Kansai University Library's Naito Collection, two international seminars and two international symposiums were held, and three conference volumes and a dozen relevant books were published during the project period.

研究分野：近世近代日本漢学史；近代日中米文化交渉史

キーワード：内藤湖南 内藤文庫 大正日本 日中関係 東西交渉 東洋史論 清末民国初期政治社会論 中国文明文化論

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

最近 20 年間に公表された内藤湖南 (1866 年 - 1934 年) 関連の著書と論文の数は少ないが、その大半は内藤乾吉と神田喜一郎が編集した『内藤湖南全集』全 14 巻 (筑摩書房、1969 年 - 1976 年) に基づいて行った研究の成果である。高木智見が『内藤湖南: 近代人文学の原点』(筑摩書房、2016 年) において、「従来の湖南研究において、史料論的検討が十全に行われてこなかったのはなぜか。本稿が多くを負っている関西大学図書館内藤文庫所蔵資料の整理完了、公開が近年のことに属するという事情も確かにある」と指摘している。同文庫は関西大学が 1986 年創立百周年記念行事の一環として譲り受けた、湖南、乾吉 (長男) が二代にわたり蓄積した一大コレクションであり、蔵書 33,000 冊と、書簡 3,792 通及び原稿、筆談記録などを含む「非冊子体史料」約 20,000 点より構成されている。この信憑性の高い「内藤文庫」の一次資料を活用する実証研究の推進が一つの課題となっている。

2. 研究の目的

近代日本の東洋学の代表者の一人として、内藤湖南は近世中国・日本の学問史、芸術史に関する膨大な研究業績を残しただけでなく、同時代の内外政治についての鋭い観察者でもあった。大正期 (1912 年 - 1926 年) は内藤湖南の生涯における知的生産の最盛期であり、その中国の歴史、現状と文明に関する主要論点と論理はほぼこの時期に出揃っている。本研究は、このような湖南の学術造詣と政治思想の形成における日中文化交渉と東西思想交渉の実態を、内藤文庫中の大正期資料に基づき、第一次世界大戦前後に激変した世界情勢というコンテキストのなかで解明することを目指している。

3. 研究の方法

研究期間中、次のような諸方法で研究を推進した。

(1) 内藤湖南が逝去した 1934 年 6 月以降の研究文献 (日本語・中国語・英語) を調査整理し、網羅的な目録を作成することにより、先行研究の徹底把握に努めた。

(2) 「内藤文庫」に対する持続的調査研究を行い、既刊の『内藤湖南全集』、『内藤湖南・十湾書簡集』(鹿角市先人顕彰館 2016 年)、『内藤湖南筆談文獻研究』(上海交通大學出版社、2018 年) と『内藤湖南 未収録文集』(全集に未収録の新聞雑誌論説の集成、河合文化教育研究所、2018 年) などと照合して検討作業を行った。

(3) 主な研究テーマを設定し、打合せの会合を開催することで、代表者、分担者及び研究協力者の間の情報共有、意思疎通とコンセンサス形成を図った (テーマ 1 東洋史論; テーマ 2 清末民国初期政治社会論; テーマ 3 中国文明文化論)。

(4) 文化交渉学の研究方法を活用した。同方法は、文科省グローバル COE プログラムである関西大学文化交渉学教育研究拠点 (2007 - 2012 年) が開発した、多元的文化要素の相互影響を総合的に考察し、動態的に把握するというアプローチである。

4. 研究成果

研究成果は各年度の実績報告書及び本報告書「5. 主な発表論文等」に列挙してあるが説明は加えていない。そこで特に重要な成果とその内容と意義について具体的に説明する。

国際セミナーの開催

(1) 2020 年 7 月 19 日開催の第 1 回セミナー (東洋文庫超域アジア研究現代中国研究班・関西大学東西学術研究所と共催) で、カナダ・ヨーク大学の J.A. フォーゲル氏が「How

Much Does an Understanding of History Help? Naito Konan's Reading of "Communism" in China」と題する講演、米国 Macalister College の譚汝謙氏と中国南京大学の孫江氏がコメントを行い、毛里和子・大里浩秋・坂元ひろ子諸氏をはじめ約 30 名が参加した。

(2)2021 年 1 月 23 日に開催された第 2 回セミナーも約 30 名の参加を得、筑波大学の中野目徹氏が「高橋健三に関する新出史料について」と題する特別講演を行った。1890 年代に前後して大阪朝日新聞社の客員、松方・大隈内閣の書記官長を務めた高橋はその私設秘書である青年期の内藤における政治思想とキャリアの形成に大きな影響を与えたという。

国際シンポジウムの開催

(1)2021 年 11 月 6 日、7 日に、分担者玄幸子氏が代表を務める関西大学研究拠点形成支援経費「内藤文庫および石濱文庫所蔵資料の調査と整理に関する共同研究」と協力し、関西大学東西学術研究所研究例会として国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎—近代東洋学の射程」を共催した。本科研のメンバー全員だけでなく、銭婉約（銭穆の孫娘）、羅こん（王+昆；羅振玉の孫娘）両氏が講演、従来学術交流を続けている呉偉明、林少陽、黄東蘭、朱琳諸氏及び科研費研究員石永峰氏などが発表を行った。

(2)2022 年 7 月 31 日に京都大学人文科学研究所分館にて「近代日本・中国における章学誠研究熱の形成とそのインパクト 内藤湖南、胡適および 20 世紀中国学の諸相」をテーマとする国際シンポジウムを開催した。内藤湖南撰『章實齋先生年譜』（1920 年 11 月・12 月『支那学』連載）の公刊による刺激を受けた北京大学の胡適教授が製作した同名年譜（1922 年 1 月上海商務印書館）の出版 100 周年（内藤文庫に胡適自署の寄贈本が現存）を記念するためであった。京都大学人文科学研究所所長稲葉穰氏（代読）と関西大学東西学術研究所所長吾妻重二氏の挨拶後、本科研の代表者陶徳民と分担者高木智見、京都大学人文科学研究所共同研究班「清代～近代における経学の断絶と連続：目録学の視角から」の班長竹元規人氏、副班長古勝隆一氏と永田知之氏、台湾中央研究院近代史研究所研究員の潘光哲氏（長年同所付置の胡適記念館館長を務め、展示内容の充実化に大きく貢献した）、中国南開大学日本研究院院長の劉岳兵氏などが研究報告を行った。

会議論文集の刊行

(1)玄幸子編著『国際シンポジウム論文集 内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋学の射程 内藤・石濱両文庫収蔵資料を中心に』（関西大学東西学術研究所研究叢刊 65、関西大学出版部、2023 年 3 月）に内藤関連の論文 3 本が収録、文庫資料の撮影リストも付録されている。

「“内藤文庫”所見内藤湖南中国購書贈書之一斑」（銭婉約）

「内藤湖南の人脈、思想と影響 還暦前後から一周忌までを中心に」（陶徳民）

「日本敦煌学の創始と田中慶太郎 明治四十二年の内藤湖南宛書簡三通」（高田時雄）

(2)陶徳民編著『国際シンポジウム 内藤湖南研究の最前線』（関西大学東西学術研究所研究叢刊 66、関西大学出版部、2023 年 3 月）

第一部 内藤湖南における学問と政治

「内藤湖南の中国研究における「内在的理解」について」（黄東蘭）

「内藤湖南と アジア主義 の時代」（山田智）

「内藤湖南の 1912 年奉天訪書と清室古物問題」（村田雄二郎）

「王羲之的仆人 熊希齡的顧問—從 1913 年内藤湖南的自我定位看其中国觀的特征」（陶徳民）

「1917 年内藤湖南的中國訪問與羅振玉」（銭鷗）

「試論内藤湖南與章太炎」（林少陽）

第二部 内藤湖南の学術・芸術とその周辺

「從羅王書信看早期甲骨学的形成」(羅こん〔王+昆〕)

「内藤湖南の東洋史論の特質とその史学史的意義」(小嶋茂稔)

「内藤湖南中国絵画題跋に関する再考察—関西大学図書館内藤文庫所蔵資料を中心に」(石曉軍)

「関西大学内藤文庫所蔵『内藤湖南宛廉泉書簡』について」(朱琳)

「内藤湖南和羅振玉対智永《真草千字文》的推崇和研究」(石永峰)

第三部 内藤湖南の儒教思想と仏教観・神道観

「内藤湖南と梁啓超—東アジア文明を支えてきたもの」(高木智見)

「内藤湖南の仏教観の形成—大内青巒との出会いと影響」(二ノ宮聡)

「内藤湖南的神道観」(呉偉明)

(3)陶徳民・吾妻重二・永田知之編『中国学の近代的展開と日中交渉』(アジア遊学 292、勉誠社、2023年12月)は、上記の国際シンポジウム(2)の内容を大幅に拡充し、経学(哲学)、史学と文学の三分野から大正期を中心とした近代日中学術交渉の全景を呈示したものである(第部 近代における章学誠研究熱の形成とそのインパクト;第部 経史研究の新しい展開と日中人物往来;第部 民間文学と現代中国への眼差し)。そのため、講演者・報告者のほかに、銭婉約、小嶋茂稔、井澤耕一、橋本昭典、石曉軍、竹田健二、劉曉軍、呂超、二ノ宮聡、胡珍子、周閔、井上泰山、山田智、辜承堯諸氏も執筆陣に加わった。

学術図書の刊行及び関連する書評と編集記

(1)陶徳民著『もう一つの内藤湖南像—関西大学内藤文庫探索二十年—』(関西大学出版部、2021年3月)

・高木智見、小嶋茂稔、石曉軍、村田雄二郎、山田智、二ノ宮聡、石永峰、陶徳民「陶徳民著『もう一つの内藤湖南像：関西大学内藤文庫探索二十年』書評会紀要」(『湖南』第42号、鹿角市・内藤湖南先生顕彰会発行、2022年3月)

(2)陶徳民編著『内藤湖南の人脈と影響—関西大学内藤文庫所蔵還暦祝賀及び葬祭関連資料に見る』(関西大学東西学術研究所資料集刊50、関西大学出版部、2022年3月)

・陶徳民「『内藤湖南の人脈と影響』編集記 礪波護・高田時雄両先生の助言にふれて」、『湖南』第43号、2023年3月)

・竹元規人「書評 陶徳民編著『内藤湖南の人脈と影響—関西大学内藤文庫所蔵還暦祝賀及び葬祭関連資料に見る』(『中国研究月刊』第77巻第5号、2023年5月)

(3)高田時雄編撰『内藤湖南自用印譜』(中国北京：九州出版社、2023年3月)

・石曉軍「高田時雄編撰『内藤湖南自用印譜』補遺」、『或問』第44号(近代東西言語文化接触研究会(大阪)発行、2023年12月)

(4)石濱純太郎著、高田時雄編『石濱純太郎大壺讀書記』(映日叢書第5種、臨川書店、2023年4月)

(5)歴史学研究会編、加藤陽子責任編集『「戦前歴史学」のアーリーナ 歴史家たちの1930年』(東京大学出版会、2023年5月)[第5章 小嶋茂稔「戦前東洋史学の展開と歴史学研究会の創立者群像」]

(6)村田雄二郎ほか編著『激動の国家建設 19~20世紀』(アジア人物史第9巻、集英社、2024年2月)[第8章 陶徳民・村田雄二郎共著「京都帝国大学の東洋学 アジアの再発見」]

研究成果の発信

(1) 内藤湖南を主人公とする二つのテレビ番組の製作者による関西大学図書館、京都大学人文科学研究所及び内藤が晩年を過された恭仁山荘（関西大学の施設）での取材に協力し、高田時雄、陶徳民、銭鷗などが番組に出演した。本科研の成果の一部も反映された。

2022年3月16日（水）NHK BS プレミアム・教養番組「千年のまなざしで中国をみよ内藤湖南が描いた日本と中国」（「英雄たちの選択」シリーズ。次週水曜日に再放送）。

2022年9月24日（土）秋田テレビ「ふるさと秋田再発見シリーズ 秋田人物伝～内藤湖南～」。

(2) 2024年5月11日福井県あわら市で開催された東アジア文化交渉学会第16回国際学術年次大会において、鹿角市先人顕彰館の大澤太館長と一緒に企画したパネル「内藤湖南研究と顕彰活動の新しい展開 湖南歿後90周年を記念して」を実施した（司会：大澤太。報告者：大澤太、岩田孝一、陶徳民、川上哲正、小松昌弘、石曉軍、石永峰）。

(3) 2024年5月18日東京・日本教育会館で開催された第68回国際東方学会者会議においてシンポジウム「内藤湖南にみる近代日本東洋学の特質 歿後九〇周年を記念して」を実施した（司会：村田雄二郎。報告者：金澤文三、菅野智明、銭婉約、竹元規人、陶徳民）。

結び 上記の主な成果が示すように、本科研はおおむね当初の研究計画に従って順調に進み、予期以上の研究成果を収めたと言える。

第一に、銭婉約・陶徳民・張子康編「内藤湖南研究中日英文献聯合目録（1934－2022）」が『国際漢学研究通訊』第26期（北京大学国際漢学家研修基地発行、2022年12月）に掲載され、内藤湖南が逝去した1934年6月以降の中日英三語による内藤研究文献及び上記の会議論文集（1）（2）の目次を網羅したものとして、これからの内藤研究に不可欠な参考となっている。

第二に、関西大学図書館内藤文庫など関係諸機関の所蔵資料の調査で重要な発見があった。例えば、村田雄二郎、銭鷗両氏が持続的追跡調査により、文庫中の内藤筆談記録の件数が既刊の『内藤湖南筆談文獻研究』（上海交通大學出版社、2018年）に収録されている件数の約2倍となっていると判明した。また、陶徳民が内藤一周忌法要に参列する前々日に恭仁山荘を訪れたペリオの万年筆による記帳内容（原文はフランス語。高田による邦訳：「巡禮の如く尋ね来た内藤教授の文庫訪問記念に、1935年6月23日」）を発見した。この貴重な記録は、東西シノロージの二人の巨匠の交友関係と互いのリスペクトを詳述した高田時雄の論文「ポール・ペリオと内藤湖南」〔上記の図書（2）『内藤湖南の人脈と影響』所収〕において写真つきで紹介されている。関西大学図書館内藤文庫の史料に限らず、高田時雄の《内藤湖南自用印譜》〔上記の図書（4）〕は鹿角市先人顕彰館所蔵の内藤の印章、陶徳民の論文「「康德帝」溥儀の即位儀礼と内藤湖南の見解：国立国会図書館所蔵の斎藤実首相宛書簡について」は同館憲政資料室の所蔵資料を活用した。

第三に、代表者、分担者及び研究協力者の間の意思疎通と切磋琢磨を通じて新しい情報が共有され、新しい問題意識が形成され、内藤湖南研究における新生面が開かれた。高田氏が上記の『国際シンポジウム 内藤湖南研究の最前線』の「あとがき」において、同書の論題は「思想史上の視点や湖南の中國認識の問題、湖南學術の文化史的意義、さらにその繪畫論や宗教観など非常に多方面に互っている」、自分も「内藤文庫に保存される多くの一次資料」、「とりわけ湖南に宛てた一萬通に近い書簡からは、数多くの情報を得ることができ、全集に収録された湖南自身の書簡を併せ見ることによって、内藤湖南という稀有な人物の實像に聊かなりとも近づき得たような気がする」と述べている。これは、本科研が採用した実証的研究手法と取得した多様な研究成果に関する総括であるとも考えられる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計38件（うち査読付論文 6件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 5件）

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 44
2. 論文標題 最近二十年間における関西大学の湖南研究について	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 湖南	6. 最初と最後の頁 22-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 57
2. 論文標題 『隋丁道護書啓法寺碑』が出版された前後の羅振玉と内藤湖南 書簡・題跋にみる初期民国および大正日本の「伝古」精神と技術	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 関西大学東西学術研究所紀要	6. 最初と最後の頁 281-293
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田時雄	4. 巻 54
2. 論文標題 ビブリオテカ・シニカの索引について	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東洋文庫書報	6. 最初と最後の頁 87 99
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田時雄	4. 巻 8
2. 論文標題 内藤湖南的歐洲調査之行	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 絲路文明	6. 最初と最後の頁 233 241
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石曉軍	4. 巻 44
2. 論文標題 高田時雄編撰《内藤湖南自用印譜》補遺	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 或問（近代東西言語文化接触研究会）	6. 最初と最後の頁 55-73
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民・吾妻重二	4. 巻 292
2. 論文標題 『中国学の近代的展開と日中交渉』序説	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アジア遊学（特集『中国学の近代的展開と日中交渉』）	6. 最初と最後の頁 5 19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 292
2. 論文標題 「欧西と神理相通じる」東洋の学問方法論を求めて 内藤湖南における章氏顕彰と富永顕彰の並行性について	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アジア遊学（特集『中国学の近代的展開と日中交渉』）	6. 最初と最後の頁 33 45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 292
2. 論文標題 劉咸きん（火+斤）とと何炳松の章学誠研究について」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アジア遊学（特集『中国学の近代的展開と日中交渉』）	6. 最初と最後の頁 110 119
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木智見	4. 巻 292
2. 論文標題 内藤湖南・梁啓超の設身處地と章学誠の文徳について	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アジア遊学（特集『中国学の近代的展開と日中交渉』）	6. 最初と最後の頁 87 101
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小嶋茂稔	4. 巻 292
2. 論文標題 「東洋史」の二人の創始者 那珂通世と桑原隲蔵	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アジア遊学（特集『中国学の近代的展開と日中交渉』）	6. 最初と最後の頁 130 144
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石曉軍	4. 巻 292
2. 論文標題 諸橋轍次と中国知識人たちの交流について 基本史料、研究の現状および展望	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アジア遊学（特集『中国学の近代的展開と日中交渉』）	6. 最初と最後の頁 197-211
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 二ノ宮聡	4. 巻 292
2. 論文標題 北京の奇人・中江丑吉-その生い立ちと中国研究	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アジア遊学（特集『中国学の近代的展開と日中交渉』）	6. 最初と最後の頁 244 249
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田智	4. 巻 292
2. 論文標題 竹内好と中国文学研究会のあゆみ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アジア遊学（特集『中国学の近代的展開と日中交渉』）	6. 最初と最後の頁 292 306
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小嶋茂稔	4. 巻 77-9
2. 論文標題 書評：宮宅潔著 臨川書店『ある地方官吏の生涯：木簡が語る中国古代人の日常生活』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 中国研究月報	6. 最初と最後の頁 42-44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石曉軍	4. 巻 4
2. 論文標題 内藤湖南中國繪畫題跋校註稿(1)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 国際言語文化論集（姫路獨協大学）	6. 最初と最後の頁 17-35
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 43
2. 論文標題 『内藤湖南の人脈と影響』編集記 礪波護・高田時雄両先生の助言にふれて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 湖南	6. 最初と最後の頁 7-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 35
2. 論文標題 書評：袁英明著『京劇名優・梅蘭芳と日本』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 洪沢研究	6. 最初と最後の頁 71-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 町泉寿郎・陶徳民	4. 巻 115
2. 論文標題 近代の漢学者・ジャーナリスト 西村天囚書簡の紹介	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季報 (二松学舎大学附属図書館)	6. 最初と最後の頁 3-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村田雄二郎	4. 巻 64 (1)
2. 論文標題 書評：吉澤誠一郎著『愛国とボイコット 近代中国の地域的文脈と対日関係』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 アジア経済	6. 最初と最後の頁 32-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.64.1_32	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民・銭婉約	4. 巻 16
2. 論文標題 内藤湖南研究文献目録 (中国語・英語)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東アジア文化交渉研究 (関西大学)	6. 最初と最後の頁 409-422
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32286/00028062	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 14
2. 論文標題 書評：西村天因と重建懐徳堂に関する研究の新生面を開いた好著 湯浅邦弘著『世界は縮まれり 西村天因『欧米遊覧記』を読む』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 懐徳堂研究	6. 最初と最後の頁 113-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 54
2. 論文標題 「康徳帝」溥儀の即位儀礼と内藤湖南の見解：国立国会図書館所蔵の斎藤実首相宛書簡について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 関西大学東西学術研究所紀要	6. 最初と最後の頁 311-321
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32286/00023738	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村田雄二郎	4. 巻 895
2. 論文標題 書評：吉川次郎『近代中国南方のメディア言語 辛亥革命期の雲南・広西とベトナム/日本』(風響社, 2020年3月)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 中国研究月報	6. 最初と最後の頁 41-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 玄幸子	4. 巻 16
2. 論文標題 敦煌文書の世界に『冥報記』は存在したか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 敦煌寫本研究年報	6. 最初と最後の頁 127-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/Dunhuangnianbao_16_127	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高田時雄	4. 巻 16
2. 論文標題 藤田豊八と草創期敦煌學	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 敦煌寫本研究年報	6. 最初と最後の頁 137-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/Dunhuangnianbao_16_137	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高田時雄	4. 巻 7
2. 論文標題 内藤湖南の敦煌遺書調査及相關資料	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 絲路文明	6. 最初と最後の頁 249-258
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 錢婉約・陶徳民・張子康	4. 巻 26
2. 論文標題 内藤湖南研究中日英文献聯合目錄(1934-2022)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 國際漢学研究通訊(北京大学國際漢學家研修基地)	6. 最初と最後の頁 322-388
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 高木智見 小嶋茂稔 石曉軍 村田雄二郎 山田智 二ノ宮聡 石永峰 陶徳民 共著	4. 巻 42
2. 論文標題 陶徳民著『もう一つの内藤湖南像 関西大学内藤文庫探索二十年』書評会紀要	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 湖南	6. 最初と最後の頁 42-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 二ノ宮聡	4. 巻 138
2. 論文標題 宝巻から見る明代後期から清代初期の碧霞元君信仰	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東方宗教（日本道教学会）	6. 最初と最後の頁 27-45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石曉軍	4. 巻 3
2. 論文標題 内藤湖南中国絵画題跋研究序説 基礎史料の整理および初步的考察	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国際言語文化論集（姫路獨協大学）	6. 最初と最後の頁 85-105
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 玄幸子	4. 巻 54
2. 論文標題 石瀆文庫所収書簡資料に見る明治三十九年～昭和三〇年代の漢学 その一 石田幹之助書簡を通じて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 関西大学東西学術研究所紀要	6. 最初と最後の頁 29-53
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 41
2. 論文標題 湖南研究の新機軸を打ち出すための模索 内藤文庫をめぐる共同研究プロジェクトについて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 湖南	6. 最初と最後の頁 27-34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田時雄	4. 巻 15
2. 論文標題 再び白堅について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 敦煌寫本研究年報	6. 最初と最後の頁 137-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 二ノ宮聡	4. 巻 42
2. 論文標題 満州の廟会 - 満鉄沿線の娘娘廟会 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 関西大学中国文学会紀要	6. 最初と最後の頁 151-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田時雄	4. 巻 VI
2. 論文標題 舊鈔本古文尚書と内藤湖南	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中國典籍日本古寫本の研究Newsletter	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 玄幸子	4. 巻 VI
2. 論文標題 関西大学内藤文庫所蔵『窃憤録』について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中國典籍日本古寫本の研究Newsletter	6. 最初と最後の頁 4-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村田雄二郎	4. 巻 869
2. 論文標題 書評：東アジア現代思想史への挑戦：武藤秀太郎『大正デモクラットの精神史 東アジアにおける「知識人」の誕生』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中国研究月報	6. 最初と最後の頁 37-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小嶋茂稔	4. 巻 874
2. 論文標題 「歴史科学大系」概観	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 41-48
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計25件（うち招待講演 10件 / うち国際学会 15件）

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 内藤湖南における学問と政治 研究の現状と展望について
3. 学会等名 国際日本文化研究センター共同研究班「比較のなかの「東アジア」の「近世」 新しい世界史の認識と構想のために」（代表：伊東貴之）平成5年度第1回共同研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 報人乎？學人乎？經世家乎？ 略述三十年来我的内藤湖南觀之變遷
3. 学会等名 台湾中央研究院近代史研究所講演会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 東洋史学者の見た昭和初期の世界 京大退官後の内藤湖南について
3. 学会等名 東京泊園塾（関西大学東京センター）（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 晩年の湖南関わった文化団体と事業 東方文化聯盟と日満文化協会を中心に
3. 学会等名 鹿角市先人顕彰館令和五年度文化講演会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 村田雄二郎
2. 発表標題 档案在先還是研究在先？：基於利用日本国家档案和私人資料研究近代中日關係史的經驗
3. 学会等名 南京大学中華民國史研究センター主催“海外蔵档与近代中日關係”學術ワークショップ（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石曉軍
2. 発表標題 近代中日文化交渉史上被塵封的若干人與事
3. 学会等名 復旦大学主催「事件・詞語・圖像 近代中日文化交渉史學術報告會」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 二ノ宮聡
2. 発表標題 《北京風俗図譜》中所見民衆的生活和芸道
3. 学会等名 北京大学宗教文化研究院主催「2023東亞人文國際論壇・東方文明與藝道國際學術研討會」(招待講演)(國際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小嶋茂稔
2. 発表標題 戦前東洋史学の展開と歴研の創立者群像
3. 学会等名 歴史学研究会創立90周年記念シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 二ノ宮聡
2. 発表標題 花会的活動和芸道
3. 学会等名 2022東亞人文國際論壇－東方文明与芸道國際學術研討會(北京大学宗教文化研究所主催)(招待講演)(國際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 石曉軍
2. 発表標題 幕末・明治期における播磨の漢詩人と中国文人の交友 河野鉄兜、龜山雲平を中心として
3. 学会等名 姫路藩酒井家文化歴史研究会 令和4年度総会特別講演(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 伯希和1935年初夏の遠東行程是如何定下的？ - 参加内藤湖南一周年忌辰也是重要因素 -
3. 学会等名 東アジア文化交渉学会第13回国際学術大会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 『隨丁道護書啓法寺碑』出版前後の羅振玉與内藤湖南 書簡和題跋所見民國初期和大正日本の「傳古」精神及技術
3. 学会等名 関西中国書画コレクション研究会設立10周年記念国際シンポジウム「関西中国書画の空間」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 内藤湖南の遺曆・葬儀関連行事から見るその社会的影響
3. 学会等名 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋學の射程」（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 1. 高田時雄
2. 発表標題 日本敦煌學の創始と田中慶太郎 明治四十二年の内藤湖南宛書簡三通
3. 学会等名 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋學の射程」（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 玄幸子
2. 発表標題 書簡から見る石濱純太郎と東洋言語学者たち
3. 学会等名 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋學の射程」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 村田雄二郎
2. 発表標題 1912年の奉天訪書と清室財産問題
3. 学会等名 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋學の射程」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 錢鷗
2. 発表標題 王国維・羅振玉の時局認識と内藤湖南――1917年を中心に
3. 学会等名 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋學の射程」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石曉軍
2. 発表標題 内藤湖南の漢文題跋にみるその中国絵画史論
3. 学会等名 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋學の射程」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小嶋茂稔
2. 発表標題 内藤湖南の東洋史論の特質とその史学史的意義
3. 学会等名 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋學の射程」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田智
2. 発表標題 内藤湖南と アジア主義 の時代
3. 学会等名 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋學の射程」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 二ノ宮聡
2. 発表標題 内藤湖南の仏教観
3. 学会等名 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋學の射程」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高木智見
2. 発表標題 内藤湖南と梁啓超
3. 学会等名 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋學の射程」(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 4. 玄幸子
2. 発表標題 内藤文庫所蔵の敦煌文献写真資料について
3. 学会等名 東西学術研究所創立70周年記念 シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高田時雄
2. 発表標題 羅振玉と日本敦煌學の創始 特に羅振玉と藤田豐八の交遊について
3. 学会等名 2020年度關西大學東西学術研究所第7回研究例會「羅振玉の學術と學術への新しいアプローチ」(東アジアの思想と藝術の文化交渉研究班)(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 二ノ宮聡
2. 発表標題 偽滿時期的碧霞元君廟會：以鳳凰山、北山為例
3. 学会等名 2020東亞人文論壇;東方文明與儀軌國際學術會(於北京大學)(國際学会)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計23件

1. 著者名 De-min TAO (陶徳民)	4. 発行年 2024年
2. 出版社 Walter de Gruyter	5. 総ページ数 494
3. 書名 The Sinosphere and Beyond: Essays in Honor of Joshua Fogel (eds. Joan Judge & Joachim Kurtz) (担当Naito Konan's Ambivalence toward Western-style Modernity: With an Overview of Recent Naito Studies at Kansai University. pp.19-35)	

1. 著者名 陶徳民・村田雄二郎	4. 発行年 2024年
2. 出版社 集英社	5. 総ページ数 934
3. 書名 アジア人物史第9巻『激動の国家建設 19～20世紀』（担当 第8章「京都帝国大学の東洋学 アジアの再発見」469-503）	

1. 著者名 玄幸子・銭婉約・陶徳民・高田時雄・長谷部剛・堤一昭・吾妻重二・長田俊樹	4. 発行年 2023年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 254
3. 書名 国際シンポジウム論文集 内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋学の射程	

1. 著者名 陶徳民・黄東蘭・山田智・村田雄二郎・銭鷗・林少陽・羅こん（王＋昆）・小嶋茂稔・朱琳・石曉軍・石永峰・二ノ宮聡・高木智見・呉偉明	4. 発行年 2023年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 322
3. 書名 国際シンポジウム論文集 内藤湖南研究の最前線	

1. 著者名 陶徳民・吾妻重二・永田知之・竹元規人・古勝隆一・高木智見・潘光哲・劉岳兵・銭婉約・羅こん（王＋昆）・小嶋茂稔・石曉軍・竹田健二・井澤耕一・橋本昭典・井上泰山・周関・山田智・二ノ宮聡・劉曉軍・呂超・胡珍子・辜承堯	4. 発行年 2023年
2. 出版社 勉誠社	5. 総ページ数 329
3. 書名 中国学の近代的展開と日中交渉	

1. 著者名 高田時雄	4. 発行年 2023年
2. 出版社 九州出版社（中国・北京）	5. 総ページ数 212
3. 書名 内藤湖南自用印譜	

1. 著者名 高田時雄	4. 発行年 2023年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 227
3. 書名 石濱純太郎 大壺讀書記（映日叢書第5種）	

1. 著者名 加藤陽子（責任編集）・小嶋茂稔・井上文則・佐藤雄基・馬場哲・昆野伸幸・館葉月・前田亮介・下村周太郎・戸邊秀明・木下竜馬・古畑侑亮・三澤拓弥	4. 発行年 2023年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 231
3. 書名 「戦前歴史学」のアリーナ 歴史家たちの1930年代（担当 第5章「戦前東洋史学の展開と歴史学研究会の創立者群像」）	

1. 著者名 小嶋茂稔・岩田康之・牛木純江・金子真理子・川手圭一・君塚仁彦・日高智彦	4. 発行年 2023年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 262
3. 書名 東京学芸大学150年の歩み 1873-2023	

1. 著者名 小嶋茂稔	4. 発行年 2023年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 96
3. 書名 光武帝 「漢委奴国王」印を授けた漢王朝の復興者	

1. 著者名 二ノ宮聡	4. 発行年 2024年
2. 出版社 勉誠社	5. 総ページ数 304
3. 書名 泰山諸神の信仰の展開－東岳大帝から碧霞元君へ	

1. 著者名 二ノ宮聡	4. 発行年 2023年
2. 出版社 宗教文化出版社（中国）	5. 総ページ数 587
3. 書名 東方文化と礼儀 中国・韓国・日本道文化研究論集（金勲主編）（担当「廟会与民信仰活動中所見的規範」514 - 529）	

1. 著者名 陶徳民	4. 発行年 2023年
2. 出版社 関西大学東西学術研究所	5. 総ページ数 213
3. 書名 東アジアの思想と芸術の文化交渉研究（関西大学東西学術研究所研究叢書第13号、二階堂善弘編著）（担当「富岡謙蔵研究の現状と展望に関する覚書 内藤文庫所蔵資料の利用価値に触れて」95-115）	

1. 著者名 村田雄二郎	4. 発行年 2022年
2. 出版社 集英社	5. 総ページ数 784
3. 書名 アジア人物史第8巻 『アジアのかたちの完成』（担当「悪女」と「権臣」がもたらした王朝政治の終焉 西太后と袁世凱」690-752)	

1. 著者名 陶徳民	4. 発行年 2022年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 244
3. 書名 内藤湖南の人脈と影響 関西大学内藤文庫所蔵遺暦祝賀及び葬祭関連資料に見る	

1. 著者名 陶徳民著，辜承堯訳	4. 発行年 2022年
2. 出版社 江蘇人民出版社（中国・南京）	5. 総ページ数 334
3. 書名 日本近代中国学の形成 漢学革新与文化交渉	

1. 著者名 陶徳民	4. 発行年 2022年
2. 出版社 文圖學會 (Text and Image Studies Society)	5. 総ページ数 323
3. 書名 大有萬象 文圖學古往今來（衣若芬 主編、執筆者28名による共著）（担当：巻頭特約專文「關於文圖學之 思考及經驗分享」1-9)	

1. 著者名 陶徳民	4. 発行年 2022年
2. 出版社 関西中国書画コレクション研究会	5. 総ページ数 211
3. 書名 中国書画コレクションの時空（関西中国書画コレクション研究会設立10周年記念国際シンポジウム報告集）（担当：拓本啓法寺碑在中日兩國間の流轉出版及其影響 兼論内藤湖南對羅振玉的阮元批判所作的響應」95-102)	

1. 著者名 村田雄二郎ほか(公益財団法人東洋文庫超域亞洲研究部門現代中国研究班)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東洋文庫	5. 総ページ数 603
3. 書名 集体化時代の中国：日中共同研究（東洋文庫論叢84）	

1. 著者名 村田雄二郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 328
3. 書名 反米－共生の代償か，闘争の胎動か（遠藤泰生 主編）（担当「近現代中国における「反米」と「親米」対立と競存の構造」91-116）	

1. 著者名 陶徳民	4. 発行年 2021年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 412
3. 書名 もう一つの内藤湖南像 関西大学内藤文庫探索二十年	

1. 著者名 石曉軍（訳）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文匯出版社（中国・上海）	5. 総ページ数 360
3. 書名 律令国家的轉變 奈良時代 平安時代前期（坂上康俊著）	

1. 著者名 高木智見	4. 発行年 2020年
2. 出版社 清水書院	5. 総ページ数 333
3. 書名 侠の歴史（鶴間和幸 主編）（担当「子路 - 俠気の必要性を身を以て示した儒者」48-89）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小嶋 茂稔 (Kojima Shigetoshi) (20312720)	東京学芸大学・教育学部・教授 (12604)	
研究分担者	高木 智見 (Takagi Satomi) (30211999)	山口大学・その他部局等・名誉教授 (15501)	
研究分担者	二ノ宮 聡 (Ninomiya Satoshi) (50735016)	北陸大学・国際コミュニケーション学部・講師 (33304)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	高田 時雄 (Takata Tokio) (60150249)	公益財団法人東洋文庫・研究部・研究員 (72622)	
研究分担者	石 曉軍 (Shi Xiaojun) (60330479)	姫路獨協大学・人間社会学群・教授 (34521)	
研究分担者	村田 雄二郎 (Murata Yujiro) (70190923)	同志社大学・グローバル・スタディーズ研究科・教授 (34310)	
研究分担者	錢 鷗 (Qian Ou) (70298701)	同志社大学・グローバル地域文化学部・教授 (34310)	
研究分担者	山田 智 (Yamada Satoshi) (90625211)	静岡大学・教育学部・准教授 (13801)	
研究分担者	玄 幸子 (Gen Yukiko) (00282963)	関西大学・外国語学部・教授 (34416)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 国際シンポジウム「近代日本・中国における章学誠研究熱の形成とそのインパクト 内藤 湖南、胡適および20世紀中国学の諸相」	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 国際シンポジウム「内藤湖南と石濱純太郎 近代東洋学の射程」	開催年 2021年～2021年
国際研究集会 内藤湖南研究プロジェクト第2回国際セミナー	開催年 2021年～2021年

国際研究集会 内藤湖南研究プロジェクト第1回国際セミナー	開催年 2020年～2020年
---------------------------------	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
中国	北京語言大学	南開大学	香港中文大学	他3機関
カナダ	York University			
米国	Macalister College			